



国土交通省 千曲川河川事務所

Chikumagawa River Office
Hokuriku Regional Development Bureau
Ministry of Land
Infrastructure, Transport and Tourism

【取り扱い】 本資料の発表をもって解禁

記者発表資料
令和6年12月18日

国土交通省

令和6年度補正予算 千曲川河川事務所事業の概要について

信濃川水系（千曲川・信濃川中流）では、令和元年東日本台風（台風第19号）における甚大な被害を受け、流域内の関係者が連携して「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」を進めているところです。

引き続き、「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」と合わせて、「信濃川水系河川整備計画」に基づく事業を実施していくことで、地域の「安全・安心」に向けた川づくりを推進してまいります。

1 信濃川水系緊急治水対策プロジェクト R6年度補正事業費：20,032百万円（工事諸費等を除く）

- 信濃川水系全体での上下流バランスや氾濫域のリスク等を総合的に勘案し、千曲川本川の水位低下を目指して、河道掘削・遊水地整備を段階的に進めます。また、堤防強化対策の必要な区間について、引き続き整備を推進します。

2 令和6年7月豪雨災害復旧工事 R6年度当初・補正事業費：558百万円（工事諸費等を除く）

- 令和6年7月豪雨に伴い、被災した箇所の災害復旧工事を実施します。

3 河川改修関係 R6年度補正事業費：940百万円（工事諸費等を除く）

- ^{ながめま}長沼地区河川防災ステーションの整備を推進します。（^{ながの}長野市）
- 洪水を安全に流すため、弱小堤防区間の堤防整備を実施します。（^{ながの}長野市、^{ひがしちくま いくさか}東筑摩郡生坂村）

4 大町ダム等再編事業関係 R6年度補正事業費：1,070百万円（工事諸費等を除く）

- 土砂対策設備準備工、土砂対策設備設計等を進め、事業の進捗を図ります。

5 河川維持修繕関係

- 千曲川における河川管理施設の修繕等を行います。

実施予定箇所 位置図



- 【配布先】
- 長野県庁会見場
 - 長野市政記者クラブ
 - 長野市政記者会
 - その他・専門紙

- 【問い合わせ先】
国土交通省北陸地方整備局
千曲川河川事務所 026(227)7611
副所長（技術） 河原 武志（かわはらたけし）
副所長（管理） 山邊 満（やまべみつる）
流域治水課長 工藤 裕之（くどうひろゆき）

【千曲川河川事務所
X (旧twitter) 】



【千曲川河川事務所
緊プロHP】



しなのがわ
信濃川水系緊急治水対策プロジェクト(千曲川)※1の推進

ちくまがわ
R6補正事業費
20,032百万円※2

ながの
ながの
長野県長野市 他

※2: 千曲川の河川等大規模災害関連事業費のR6補正全体事業費の合計

事業の概要

令和元年東日本台風では信濃川水系の千曲川上流域から信濃川中流域の広域にわたって甚大な被害が発生したことから、「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」として、国、県、市町村が連携して河川整備によるハード対策と流域における対策や地域連携によるソフト対策を一体的かつ緊急的に推進します。

「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」の概要

○以下の3つを柱として取り組んでいきます。

- ①被害の軽減に向けた治水対策の推進（河川における対策）
- ②地域が連携した浸水被害軽減対策の推進（流域における対策）
- ③減災に向けた更なる取組の推進（まちづくり、ソフト施策）

関係機関が連携し、上記の3つの取組を推進し、「再度災害防止・軽減」、「逃げ遅れゼロ」、「社会経済被害の最小化」を目指します。

令和6年度補正の事業内容

補正予算の充当により、信濃川水系緊急治水対策プロジェクト（千曲川）の「河川における対策」の内、水位低減を図る河道掘削、遊水地及び堤防強化を推進します。

～ みんなでつなぐしなのの川 ～

信濃川水系緊急治水対策プロジェクト ～「日本一の大河」上流から下流まで流域一体となった防災・減災対策の推進～



※1:「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」

➤ 緊急治水対策プロジェクトの詳細は下記にてご覧いただけます。

http://www.hrr.mlit.go.jp/river/sinanogawakinkyutisuitaisaku/sinanogawakinkyutisuitaisaku_top.htm

令和6年7月梅雨前線に伴う災害復旧工事の実施

ながの あづみの しおがわら
長野県安曇野市塩川原地先 他

R6事業費
558百万円※1

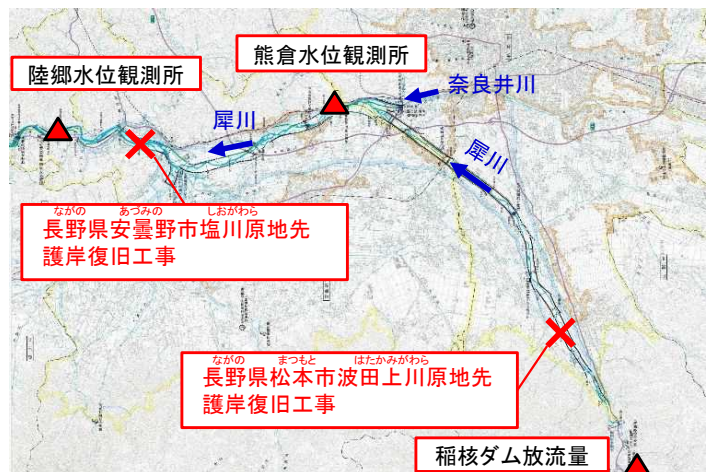
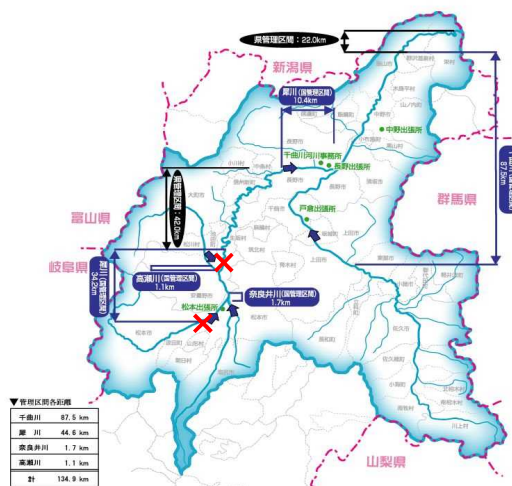
※1: 千曲川の河川等災害復旧事業費（R6年災）
のR6当初及びR6補正の合計

事業の概要

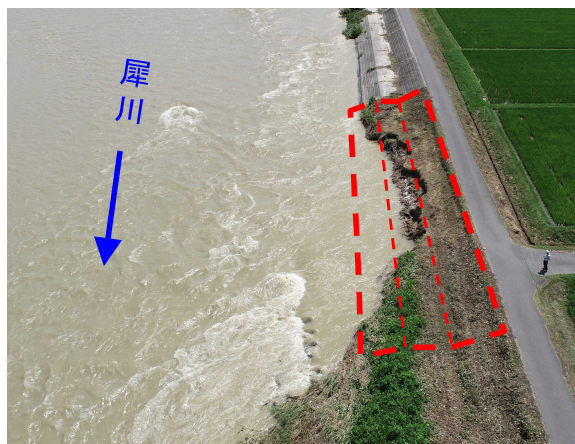
令和6年6月30日から7月2日にかけて日本海付近に停滞した前線の影響で、暖かく湿った空気が継続して流れ込み、西日本と東日本では広い範囲で大雨となり、犀川の複数箇所で護岸損壊等が発生しました。被災箇所の応急復旧は完了していますが、本来の堤防機能の早期回復を目的とし、被災箇所の災害復旧工事を行います。

令和6年度予算の事業内容

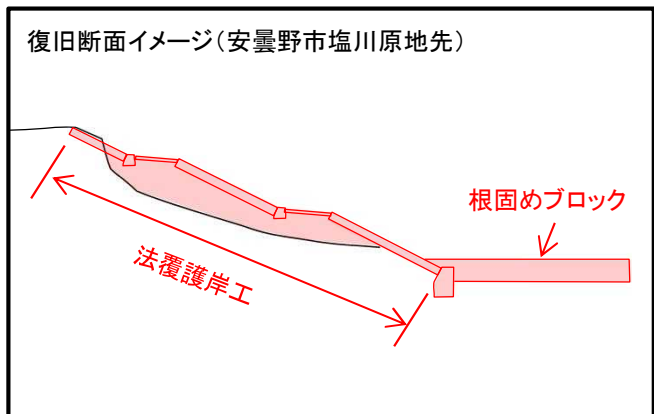
しおがわら
塩川原地区他1箇所の護岸復旧工事を実施します。



被災状況・護岸復旧イメージ(安曇野市塩川原地先)



復旧断面イメージ(安曇野市塩川原地先)



ちくまがわ ながめま

千曲川 長沼地区河川防災ステーション整備事業 の推進

ながの ながの
長野県長野市

R6補正事業費
940百万円※1

※1: 千曲川河川改修事業のR6補正全体事業費

事業の概要

千曲川では、令和元年東日本台風に伴う洪水により家屋等の浸水被害が発生しました。
長沼地区河川防災ステーションは、災害時の緊急復旧活動を行う上で必要なコンクリートブロックなどの緊急用資材の備蓄や、駐車場、ヘリポート等の整備を行うとともに、長野市が水防センターを設置するなど、災害時の活動拠点となる施設です。
信濃川水系における流域治水の一環として、千曲川（長沼地区）において河川防災ステーション整備等を推進します。

整備効果

河川防災ステーション整備の推進により、迅速かつ円滑な復旧活動を行う体制の強化を図ります。

令和6年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、河川防災ステーション整備に伴う地盤改良等を推進します。

長沼地区河川防災ステーション:イメージ図



位置図



施工状況
(令和6年10月撮影)

➤ 北陸地方整備局管内の流域治水プロジェクトについては、下記にてご覧いただけます。
<https://www.hrr.mlit.go.jp/river/ryuikisui/top.html>

ちくまがわ

千曲川

堤防・市道機能向上事業

の推進

ながの
長野県長野市

R6補正事業費
940百万円※1

※1: 千曲川河川改修事業のR6補正全体事業費

事業の概要

千曲川の長野市及び須坂市の村山橋～落合橋間の堤防は、高さや断面が不足しているとともに、浸透に対する安全度が低く、洪水により堤防が決壊した場合、甚大な被害が発生するおそれがあります。
信濃川水系における流域治水の一環として、長野市において、堤防整備を推進します。

整備効果

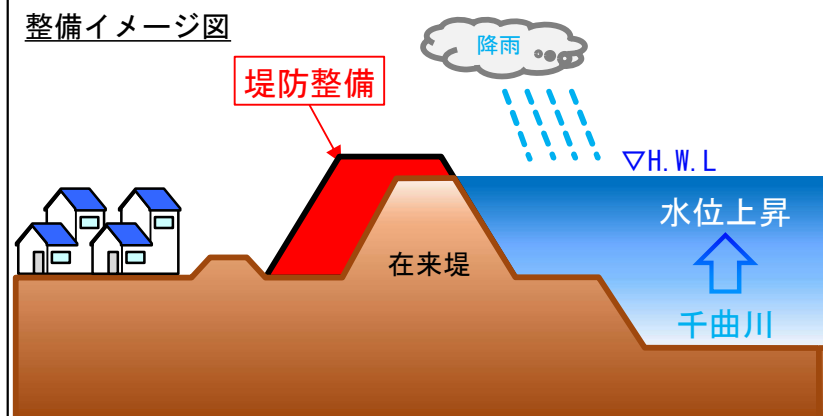
堤防整備等の実施により、千曲川流域の治水安全度を向上させます。

令和6年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、氾濫をできるだけ防ぐ、減らすための対策として、長野市の堤防整備を推進します。



整備イメージ図



➤ 北陸地方整備局管内の流域治水プロジェクトについては、下記にてご覧いただけます。
<https://www.hrr.mlit.go.jp/river/ryuikitisui/top.html>

ちくまがわ しもいくの
千曲川 下生野地区 堤防整備事業 の推進
ながの ひがしちくま いくさか
長野県東筑摩郡生坂村 R6補正事業費
940百万円※1

※1: 千曲川河川改修事業のR6補正全体事業費

事業の概要

千曲川の支流である犀川に位置する下生野地区では、平成18年7月洪水において上流ダム群の特例操作により被害を回避した無堤区間となっており、洪水により水位が上昇した場合、家屋浸水被害が発生するおそれがあります。

信濃川水系における流域治水の一環として、下生野地区において、堤防整備を推進します。

整備効果

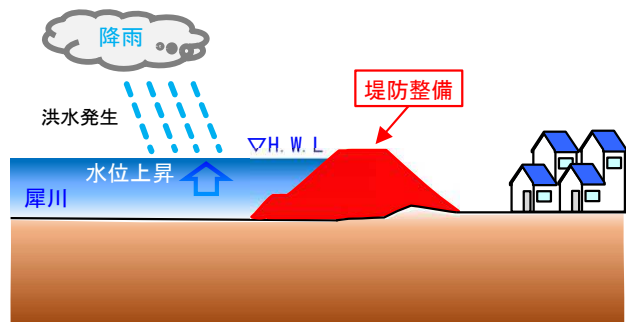
堤防整備の実施により、千曲川流域の治水安全度を向上させます。

令和6年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、氾濫をできるだけ防ぐ、減らすための対策として、下生野地区の堤防整備を推進します。



整備イメージ図



平成18年7月出水時の状況

➤ 北陸地方整備局管内の流域治水プロジェクトについては、下記にてご覧いただけます。

<https://www.hrr.mlit.go.jp/river/ryuikitisui/top.html>

おおま
ち
ながの
大町ダム等再編事業の推進
長野県大町市

R6補正事業費
1,070百万円

事業の概要

千曲川は令和元年10月台風19号豪雨水害で甚大な被害が発生するなど、これまで幾度も甚大な洪水被害が発生しています。

このため、高瀬川の既設ダムである高瀬ダム・七倉ダムの発電容量の一部と、大町ダムの水道容量の一部を洪水調節容量として新たに確保し、下流の洪水流量をさらに減少させること、さらに流入土砂対策を行うことにより長期的にダムの機能を確保することを目的とした大町ダム等再編事業を、令和2年度より進めています。

近年の気候変動に伴い激甚化・頻発化する水害・土砂災害等に対し、ハード対策とソフト対策が一体となった治水対策である「流域治水」の一環として、再編事業を実施します。

整備効果

洪水量を低減させ、下流域の治水安全度を向上させます。

令和6年度補正予算の事業内容

補正予算の充当により、土砂対策設備準備工、土砂対策設備設計 等を進め、事業の進捗を図ります。

位置図



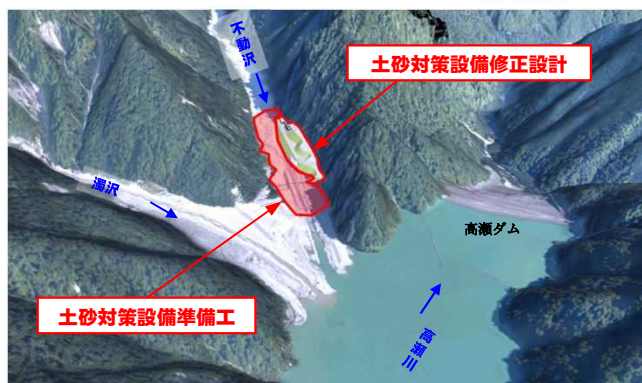
高瀬ダム



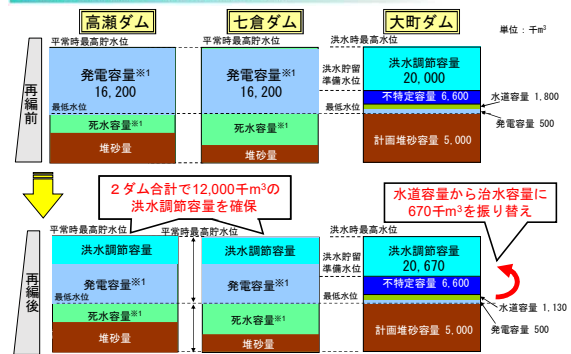
七倉ダム



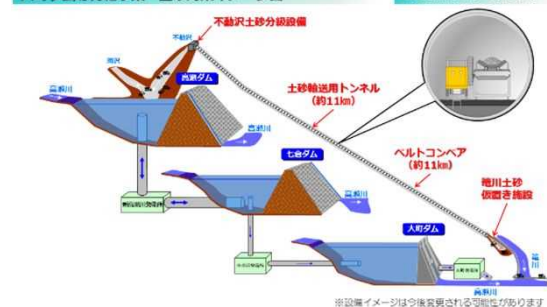
大町ダム



大町ダム等再編事業 容量再編イメージ図



大町ダム等再編事業 土砂対策イメージ図



土砂対策設備準備工（掘削）<R6.10撮影>

➤ 北陸地方整備局管内の流域治水プロジェクトについては、下記にてご覧いただけます。
<https://www.hrr.mlit.go.jp/river/ryuikitisui/top.html>